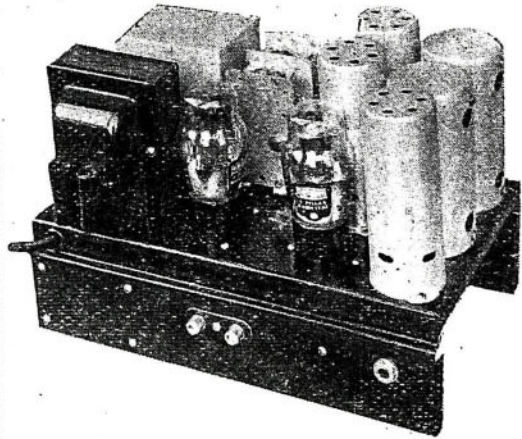


第四圖



第三圖

昭和十一年四月號

ナナオラ35型電圧表

真空管の種類	用途	K-E V	SG-E V	P-E V	P-curr mA	SG-curr mA
6A7	#1 det	3.3 (10)	100 (500)	235 (500)	5. (25)	3.8 (5)
	OSC	.....	.....	150 (500)	5. (25)	.....
6D6	IFA	5.7 (10)	100 (500)	235 (500)	5.4 (25)	3.2 (5)
75	triode AFA	1. (10)	.....	115 (500)	.45 (5)	.....
42	PA	15 (50)	235 (500)	220 (500)	32. (100)	7. (25)
80	Rect.					
Spkr.	field		150 V			

( ) = 1,000.  $\Omega/V$  Voltmeter  
or Milliammeter range.  
Line input 57 W, 0.575 A  
@ 100 V.  
電源変圧器二次側 { 5. V 1.97 A  
6.3 V 1.96 A  
840 V Ct. AC  
直流出力 370 V. @ 55 mA

ります。之を六D六を使用し一段中間増幅し、六D六の出力側は七五真空管の二極部分にて整流せられま  
す。整流電壓の可聴周波部分は七五の三極管部分と  
最終段の四二とより成る二段抵抗結合増幅器に入れ  
ます。同じく電壓の直流部分は自動音量調節に使用  
されて六A七と六D六のグリッドにし返っております  
可聴周波の低音を明瞭にする爲にはグリッドバイ  
アス抵抗に大容量蓄電器を並列に入れてあります。

高聲器よりの出力は手動調節器にて適當なる音量に  
調節せられ同調節器にはビツク・アツブの切替装置  
がしてあります。又音質調整器は高音部及低音部が  
自由に調節せられ此の調整器には電源スイッチが併  
用されて居ります。  
電源装置には八〇型整流管を使用しております。ハ  
ムの程度は二區分の濾波器に依つて最低限度にして  
あります。濾波器の第一塞流線輪は一五ヘンリーで  
第二は高聲器のフィールド・コイルを利用して居りま  
す。尙塞流線輪と高聲器入力變壓器の一次線とを適  
當の位相方法に依り其の平衡を行つてあります。  
高聲器は音質本意に設計してある八吋ダイナミツ  
ク・スピーカーを自藏してあります。  
此の受信機の可能周波数の範圍は五五〇k cより  
一、五〇〇k cです。  
キャビネットの寸法は縦四四五耗、横三二〇耗、  
奥行二一五耗で重量は一〇・四耗となつて居ります。  
第三圖はシャーシの表面第四圖はその配置圖で  
あります。